

Affordable & Sustainable

連載

第4回

アメリカの技能五輪大会で医療をアピール
～ものづくり競技と肩を並べる医療競技～

はじめに

アメリカの技能五輪大会は、旋盤、機械製図、メカトロニクスに代表されるものづくり競技のほかに、救急テクニシャン、医療アシスタントの患者ケア技能を競い合う医療競技もあります。

技能五輪は、参加する若年者が職能技術の向上に取り組んだ努力が評価されるので、キャリア形成にも貢献します。

今回は、アメリカ技能五輪大会の概要と医療競技についてお届けします。

1. アメリカ技能五輪大会 (Skills USA)

Skills USA は、1965年に米州職業能力開発協会 (VICA) として始まりました。名称は、紆余曲折を経て1995年に、United States Skill Olympics から Skills USA Championships に改名され、

2002年には、名称を短縮して現在の Skills USA (アメリカ技能五輪大会) になりました。

アメリカ技能五輪大会は、職能開発の成功モデルとして、連邦文部省および労働省からも認められています。本稿では、Skills USA をアメリカ技能五輪大会と訳します。

アメリカ技能五輪大会は、中学生、高校生、大学生が対象であり、生徒とインストラクターの会員数は33.3万人で、650以上の企業、業界団体が参加しています。技能五輪大会に参加する学校では、各州や地方本部と連携し、約17,500のクラスで技能五輪のトレーニングが実施されています(図表1)。

2. 競技科目

競技科目は大きく分けて、技術技能、リーダー

アフォーダブルとサステナブルの 視点から見たアメリカの医療・

ノースカロライナ州 RTP チャペル・ヒルより

河野圭子

ノースカロライナ州保険部認定 SHIP カウンセラー
アメリカ病院経営士会認定病院経営士
薬剤師(日本)

図表1：アメリカ技能五輪大会

- ・ 53の州・準州地区大会
- ・ 1965年以来、会員数は約1,400万人
- ・ 企業、業界団体、組合など650の全米パートナー
- ・ 全米17,489以上の講座で技能五輪大会トレーニングの実施
- ・ 年間、数千のコミュニティサービス活動実施
- ・ 全米の職業分野の1/4が技能五輪大会のカリキュラムでカバーされており、その数は130職種に及ぶ



シップ養成、職業技能の3部門に分かれています。アメリカと日本の技能五輪大会（若年者ものづくり競技大会部門）の競技項目を比較すると、日本はものづくりの技術技能に特化しているのに対し、アメリカはリーダーシップ力も含めて広範囲の技能がカバーされ、医療技能分野も含まれています。

～競技技能の例～

- 機械製図、自動車・航空機などメカトロニクス・整備、石工、旋盤、溶接、コンピュータプログラミング、Webデザイン、消防、ドローンパイロット、ビデオゲーム制作、顧客サービスなど
- 医療分野：医療アシスタント、救急医療テクニシャン、歯科アシスタント、看護アシスタント、医療用語、医療関連計算など



アメリカ技能五輪大会の
競技分野一覧

技能五輪大会は、カリフォルニア州のように参加者の多い州では、州内の地区予選から州大会、地方大会を経て、全米大会に勝ち進んで全米ナンバーワンを競います。各大会では、セレモニー用の共通ユニフォーム（赤いブレザーは大会から貸与）の着用と各競技のユニフォームの着用が義務付けられています（図表2）。医学技能を競う学生は、スクラブ姿で競技に参加します。

ところで、アメリカの公立学校は制服のない学校がほとんどで、服装規定もかなり緩和されています。ジーパン、ジャージ、Tシャツ姿で中学・高校に通学する学生が、技能五輪大会で赤いブレザーと黒いズボン、スカートを着用するのはどのような気分なのか気になるところです。

3. 医療分野の競技

医療分野の競技は、患者ケアの実技競技と筆記試験の2通りがあります。なお、救急医療テクニシャンのように実技と筆記試験の両方が競技になる場合もあります。

図表2：アメリカ技能五輪大会のユニフォーム

大会出席用共通ユニフォーム



医療スクラブ



溶接



SkillsUSA Clothing Classificationより

連載 アffordable & Sustainable

患者ケアの実技競技の例

①医療アシスタント

臨床と事務の現場での実技を競う。

●現場を想定したステーションが設定され、参加者は受け取ったシナリオを読んで、限られた時間内で状況を判断し、必要な器具を準備して患者さんに接する技能が審査されます。

●競技は、クリニックや外来診療施設を想定して、現場で要求される手順や技術、患者さんとのコミュニケーションの取り方、患者教育、医療知識、医療用語、器具、医療機器の知識などが評価されます。

②救急医療テクニシャン

2人1組のチームになって、患者ケアの実技と筆記試験の両方で競う。

●筆記試験：一般医療知識と医療情報知識を試す多枝選択式筆記試験

●実技デモンストレーション：トラウマも含めた4つのケースを想定したステーションで、米国心臓協会の基準に基づいた救急医療のデモンストレーション

③歯科アシスタント

歯科アシスタントの教育プログラム認定基準で規定された手順による患者ケアの技能を競う。

●チアサイドアシスト、歯科材料の準備、事務処置力が評価されます。

筆記試験競技

①医療用語

医療分野への就職を目指す人の医療用語や略語の知識が評価されます。医療用語は、医療機関でCPT, DRGのコーディング担当者や保険請求担当者に要求される知識です。

②医療関連計算

医療分野で使用される比率・割合、投与量計算、インチ法とメートル法の換算（コラムのThat's so American! を参照）、ローマ数字、略語などが出題されます。

アメリカの日常生活ではインチやオンスが使用されていますが、医療分野ではインチやリットル

も汎用されるので、インチ↔センチ、オンス↔リットルの換算知識が必要なのです。

今後、医療事務分野にカスタマーサービス実技、コーディングや保険請求実務競技などが加わる可能性も考えられます。

4. 資格 vs 実務技能

アメリカの公立高校は、地域によって差はありますが、工業・産業・商業科目に特化した職業高校や、普通高校の中でも職業科目（CTE）を学べるオールインワンタイプの高校もあります。

ノースカロライナ州は、高校生が高度な特殊職能を身に着けるための大学への二重在籍制度があります（2021年9月1日号「医事業務」（609号）「産学官の連携で住民の人材育成と雇用促進」参照）。この制度で資格や技術の取得はできますが、現場に出た時に必要なのは実務能力です。確かに、資格が無ければできない業務がありますので、分野によっては資格は必要です。問題は、その資格をどうやって実務に反映させるかです。

特に学生の場合、取得した資格や技能が評価される場は少ないように感じます。現場で技能をどのように生かすのか、役に立てるのか、あるいは、資格が要求されない職種の場合、自分の実務力を売り込むときに比較する指標が必要です。そこで、技能五輪大会への参加は、自分の技能の研さんの場として、同じ目標を持つ人と競い合いながら、学び合う良い機会なのではないでしょうか。

5. 将来への期待

アメリカは高齢化社会を前に医療系スタッフの需要が増えており、複雑な公・民間健康保険から利益を出すためには有能な非臨床系の診療情報、医療事務スタッフが経営の鍵を握るようになります。

今後、アメリカ技能五輪大会のように医療事務分野の競技が増えて、事務部門の実技技能が評価される機会や大会が増えれば、若年者たちに医療事務のキャリアを目指してもらう原動力になるのではないかでしょうか。

ノースカロライナ州大会に参加した高校生の感想

●僕の高校は、グラフィックデザインと技術計算部門に参加しました。州大会は4月27~29日に、グリーンプロ*のシェラトンホテルのカンファレンスセンターで開催されました。

大会は、複数の競技が同時進行され、レンガをセメントで施工する学生、自作のレースカーを展示する学生、スクラブ姿で医療技能を競う学生を見かけ、あたらめにいろんな職種があることに気づきました。全く違うバックグラウンドの高校生と話してネットワーキングする機会があり、視野が広がりました。

●僕は、技術計算部門に参加しました。3ヵ月前から、競技に備えて何度も練習したので、自分のためにもなりました。会場は、地元・大手会社のブースがあり、会社のリクルーターが、参加者の学生と握手しながら話していました。この大会で賞を取れば、就職にも有利なのだと思います。

*グリーンプロ (Greensboro, NC) : トヨタ社の電気自動車用電池工場新設が決まり、地元の1,750名の雇用につながるとして州知事、地元も大歓迎しています。スタッフのトレーニングは、提携先のコミュニティーカレッジで実施されます。まさに产学官のモデル例です。



インチ vs センチ ～一筋縄でいかないインチ測定～

窓を取り換えた友人たちから、業者が測定したオーダーメイドの窓が少し大きくてはまらない、逆に小さくて窓と窓枠の間に空間ができる困った、という話を聞きます。このような測定ミスが生じる理由を知るべく、自宅の窓の寸法を「アメリカの尺・物差し」で測定しました。

1センチは1ミリで10等分できる感覚でインチを考えると、困ったことになりました。なんと1インチが、8等分、16等分、32等分の3種類の尺・物差しを発見！そこで、どの物差しで、どのように測定値を記入するのかを複数のアメリカ人に尋ねても、「そういえば、そうだね。考えたこともなかった」という返答。一般的なアメリカ人は、インチが日常の最小単位の感覚になっているようです。国土が大きいから、測定もおおらかになるのかもしれません。

グーグル検索をすると、図の矢印部分は、2-15/16表記し2インチ16分の15となることが判明。

窓は、31センチを超えるとインチの上のフット（1フットが12インチ）単位も出てきます。フットを含めると、複数の記入例が出てきたので、もうお手上げです。

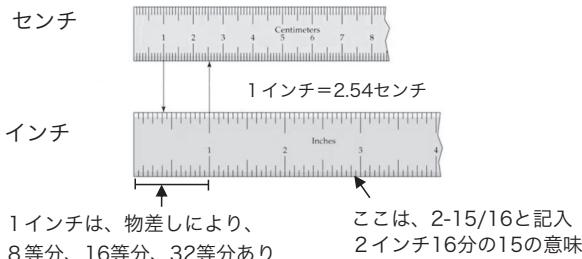
合わない窓の理由は、測定ミスというより表記ミス、単位換算ミスが原因と思いました。

アメリカは、先進国の中で唯一インチ、フット、ヤード、マイルを使っている国です。その昔、アメリカが英国から独立した時代に、ヨーロッパ大陸で使用されていたメートル法をアメリカにも取り入れる動きはありましたが、失敗に終わりました。

しかし、最近は先述のように各単位間の換算が煩雑なので、センチ（メートル法）を使う動きが出てきています。

アメリカ技能五輪大会の旋盤、製図は、インチ、それともセンチが使われているのか、興味津々です。

センチとインチの物差し



※本稿の内容は情報提供を目的とするものであり、アドバイスやコンサルテーションを目的としていることをご了承ください。

●ホームページ: <https://e-kono.com>

今回の内容に関する情報やアメリカの医療について紹介しています。



プロフィール■河野圭子 米国病院経営士会認定病院経営士。薬剤師（日本）。ワシントン大学医療経営学部修士課程修了。フロリダ州サラソタ記念病院にて病院経営フェローシップ終了。アメリカの病院でビジネス開発アナリストや医療機関でボランティアを続けながら全米を縦横断し、現在は8州目のノースカロライナ州で認定メディケアカウンセラーとして活躍中。